

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「給食費無償化って何だろう」

立川市立立川第二中学校 3年 筒井 典佳

皆さんは子どもの頃、学校での昼食をどうしていましたか。私の学校の給食時間は今まで各自で持参のお弁当や専用の給食センターの給食を食べていました。しかし私が住む立川市では、今年9月から多くの小中学校で共通の給食センターになるようです。

そこで、今まで何気なく食べていた給食について調べてみたところ、なんと給食費が無償化されているところがあると知り、今回取り上げようと思いました。

さて、皆さんは最近の子育て支援政策について知っていますか。最近の東京都は各自治体が子育て支援に力を注いでいます。子育て支援をすることで、子育てが不安なご家庭がその自治体に惹かれ、次第にその自治体はいろいろな年齢層の人が集まっていきます。すると町が豊かになっていく、つまりメリットだらけの政策なのです。

そして今、注目されているのが給食費の無償化です。令和5年9月現在、東京23区にて18の区が一時的にでも今年度導入や導入の意向を示している政策で、基本的に小中学校の給食費を無料にするというものです。みんなが楽しく食べる給食ですが、実は一年間で意外と費用がかかっています。自分で節約できるような費用でもないし、「給食費が無料」というのはとても嬉しいですね。

しかし、この政策は一部でしか行われていません。先述した通り、現在東京都では主に23区が実施していますが、対して多摩地域で導入しているのは奥多摩町と檜原村のみで、同じ東京都なのにも関わらず大きな差が生まれています。ではなぜこのような格差が生まれてしまったのでしょうか。

それは財政に余裕があり、且つ給食費無償化に向けて新たに予算を立てられるかどうかによって元々の差があるからです。というのも、もちろん給食費無償化にはとても高額な資金が必要で、決して議員さんの優しさだけで動く金額ではないのです。

そんな中、今年6月に国から「子ども未来戦略方針」という異次元の少子化対策が新たに発表されました。給食費無償化に関しては全国調査を行う旨が表記されており、明確な期限は設けられていませんが、会議を進めていくとのこと。各自治体で給食の実施率が違ったり、アレルギー等によって学校給食の提供が受けられない児童生徒がいるためまずは学校給食の実態の把握を行うようですが、いつ頃実施になるのかとても楽しみです。

給食費の無償化を調べてみて、政治の難しさが少し分かりました。全員平等な状態から始まらないところに現実の厳しさを感じましたが、「全員の願いは実現が厳しいができるだけ多様な意見を聞いて町を多方面からよりよくしていく」という政治の基本のキを学べて良かったです。今後はもっと立川市の新聞やホームページなどをよく見て、自分の立場で政治に関心を持っていきたいです。